

工房 夢来夢来

かわらばん

工房夢来夢来は狭山市
障害者団体連絡会の助
成金によって運営する
在宅障害者のディサー
ビススポットです
月・水・金曜日開所

第17号 平成13年4月発行
狭山市狭山台4-25 狭山台南小学校内
TEL&FAX 042-956-5364
発行責任者 中田亜由美
E-mail id3a-nkt@asahi-net.or.jp

年度初めにあって

代表 吉田幸子

昨年に引き続き今年も代表を務めさせていただくことになりました。正副代表、会計、書記と主なポストに障害者が就いています。障害者とボランティアで運営に携わり、指導者もないという独自の施設ですが、それなりに障害者が中心となり一人ひとり生き生きと活動しています。その陰にボランティアの皆さんの強力なバックアップがあることは言うまでもありません。

皆様にも“工房夢来夢来”の存在を少しずつ知っていただけたのも、この5年間の活動の成果と言えると思います。

これからもよろしくご指導お願い致します。

平成13年度	代表	吉田幸子
	副代表	山川早苗
	会計	田中寿子（時田孝子）
	書記	中田亜由美（堀 文子）

かわらばんの発行に思う

中田亜由美

私は、夢来夢来生活6年目になります。

開所当初は人数も少なく、どういう事をやろうかと考えた末、1番最初の作業が、かわらばんを作る事でした。何もなかったので、手書きで、障害者募集などを作りました。

その後、ワープロを寄贈していただき、写真を入れたり、イラストを入れたりして今まで書いてきました。

最初の頃は2ヶ月に1回作っていましたが、今は、名刺や、はがきの印刷等があるので、作る余裕のある時に発行しています。今は、パソコンを使って文字の大きさを考えたり、どういう内容を書いたらよいかなど、いろいろ考えながら、活動しています。

6年の間にメンバーも、いろいろ入れ替わりが激しく、本当は、同じ人ができれば続けていけると良いのですが・・・

あと、1番大変なのは、原稿を集める事です。編集するのは私達ですが、原稿がなければ先には、進めません。なんでも良いので、みなさん、御協力よろしくお願いします。例えば詩や俳句、川柳でも、かまいません。

私達も、皆さんに親しまれるかわらばん作りをしていきたいと思えます。

これからも、かわらばんの愛読を宜しくお願いします。

~~~~~

城下登志子

私が夢来夢来に通所するようになって、もうじき2年になります。保健センターでのリハビリが修了して、又、家の中だけの日々と思っていた矢先、保健婦さんが夢来夢来を紹介してくれました。週一回（金曜日）牛乳パックでのスツール作りや文化刺繍をしています。又、ボランティアの皆様が心をこめて作って下さる昼食を、多勢でおしゃべりをしながらいただくのが、何よりの楽しみです。我が家の献立の参考になり、レパートリーが少しずつ増えてきました。これからは体調に気をつけて通いたいと思っています。

**夢来夢来と出会って**

菊田順子

私は1昨年（1999）9月親友の時田さんの紹介で、工房夢来夢来にはいりました。もう1年以上になろうとしています。

「夢が来る」なんて素敵なネーミングに、どなたがつけたかしら？と感動したのです。そして笑顔で活動している皆さんと一緒に、過ごしていると心が休まります。本当の豊かさは物やお金ではなく、心安らぎ満たされる喜びを知りました。

毎週水曜日に自分のできるミシンをかけて、少しのお手伝いをしています。今まで味わった事のないゆったりした時間を、過ごさせていただいて感謝しております。

皆さんありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

## 最近の脳卒中についての体験記等

横山誠司

前回はかわらばん16号への投稿でした。噂では聴読をしてくださっている方がおられるようで、大変感謝します。そこで今現在の様子はいかがかということに近況を書くことにしました。

身体の様子は変わってはいないのですが発病以来かなりの時間が経過したので病状は安定しているが麻痺等が残って居る部位はあまり変化はない、その後については思いあたる限りのリハビリはして居るつもりであるが自分で思うような変化が現れない、と言うのが現状です。

しかし以前も述べたが麻痺をしている場所は日常にはある程度慣れたのであまり不自由を感じなくなってきた、でも今感じる場所は精神的なところ。正直いってこのままで一生終わるのかという思いが募ります。今までの前進に対して決して満足している訳ではないが、やり残した事があまりにも多いことが非常に残念でならない。私の連れ合いはなんでもプラス思考に持って行くので多少見習って悲観していてもしかたがないのでまず自分の出来ること、そうパソコンが何とか操れるのもっと実力がアップする様自分も勉強しながら夢来夢来のボランティアの方々の懇切丁寧な指導とお世話で、仕事をさせてもらっています。そこをもっと充実させる様ガンバッテ行けばよいのではと思われま。

## 最近の医療について

野口弘光

最近時折目につく、万能細胞という新しい活字があります。

万能細胞とは、クローン技術を活かしていろいろな細胞を新しく造るものだと思います。将来的には軟骨、皮膚、臓器迄再生が可能になる物だと思います。医療になれば大やけどの人の皮膚移植、関節炎の人の軟骨移植、背損の人の神経細胞移植、全国で多数の苦しむ患者さんが助かると思われます。

日本では未知のパーキンソン病の脳細胞移植が近いうちに京都大学で臨床試験が行われることをインターネットで拝見しました。開発がのぞまれます。クローン技術の急速の進歩で医療は大きく変わると思われます。待ってるぞ医療開発！！

## トピックス

今年の冬はあれ程寒かったのに、桜は春の暖かさが待ちきれなかったのでしょうか。3月下旬からあっという間に満開になりました。私達が例年の花見の予定を組んだのが3月初め。とても満開になる日がこんなに早くなるとは予想もつきませんでした。車椅子の人も多いのでハンディキャブの予約の日を決めておかなければなりません。いよいよ進んでいく桜前線に気を揉みながらも、4月10日駆け込みの花見の会を催すことができました。

この周辺では稲荷山公園が主流ですが、今年の智光山での花見はもっとステキでした。静かでゆったりした庭園、ソメイヨシノ、八重桜、枝垂れ桜、ハナモモを初め種々の花を、宴会花見とは趣の違う情景で愛でることができました。桜吹雪の演出はさらに夢の世界へ誘<sup>いざな</sup>ってくれたようでした。

写真

編集後記

16号に続き、病で倒れた経験者の訴え第2弾を掲載しました。

希望を持って今ここで作業をしています。見かけたら声をかけて下さい。



